

海外留学成果報告書

【参加者B】

所属	経済	学部	経済経営	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(個人型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 10 日 ~ 2023 年 10 月 8 日 (約8週間)					
留学先 (国・地域)	アイルランド・ ヨーク	留学先大学名	グリフィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が初めて海外に行ったのは高校1年生の時で、10日間だけでしたが高校のプログラムでイギリスに留学をしました。高校2年生の時には修学旅行で3日間、ニュージーランドにホームステイをしました。このことをきっかけに大学生ではもっと長期間の留学をしたいなと思っていましたが、コロナウイルスの影響やタイミングを逃したりしてなかなか行くことができませんでした。お金・時期・タイミングを考えると3年生のこの夏期英語研修が最後の留学ができるチャンスかもしれないと思って、2ヶ月間のアイルランドでのホームステイ留学に行くことを決めました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	イギリスのホームステイも、ニュージーランドのホームステイも、家族で住んでいるうちに私が短期間だけ加わって一緒に生活をするというものだったので、その時と同じ想像でアイルランドに行ったら、ホストマザーだけで、少なくても私合わせて留学生が5人、多い時には留学生8人で生活をしていました。シェアハウスみたいな形で、それに加えて留学生の入れ替わりがすごく激しかったので同じ家に住んでいるはずなのに雰囲気があるところ変わるので馴染むのに困った時はありました。でも色々な国の人と話すことが出来たり、常に誰かが家にいたので寂しさもなかったしホームシックになることもなかったのはすごくいいメリットでしたがその反面、常に気遣いをしたり言葉がうまく伝わらない分顔をよくうかがったりして疲れてしまう時はありました。 大学の授業は、ゲームのようなことをしたり2~4人のグループにわかれて会話をしたりといったアクティビティが多かったのでたくさんクラスメイトとコミュニケーションをとることができました。月曜日から木曜日まで9時半から14時前までの時間割で朝が早く大変でしたが終わる時間が早いので放課後はカフェに行ったりセンター街をぶらぶらしたり楽しんでいました。
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	日本と比べるとやっぱり治安は悪いかと思いましたが、アイルランドはヨーロッパで比べるとすごく安全な国だと思いました。私自身にも盗られることはなかったし話も聞きませんでした。日本よりはホームレスのような人は多いですが必要以上にお金を要求してきたりはなかったです。 バトカーなどのサイレンもあまり聞きませんでした。 アイルランドのドライバーは日本よりすごく親切でした！日本だったらわざわざ止まらないようなところでも止まってくれて渡らせてくれたり、パッシングをしてくれてスピードを落としてくれたり優しくかったです。 お互い全く知らなくてもすれ違う時に“Hi” “Hello”と言ひ合える文化はすごくいいなと感じました。 日本には自動販売機の近くにゴミ箱があるぐらいですが、アイルランドはいろんな所にゴミ箱があってすごく便利でした！なのに日本より綺麗じゃないのは今でも不思議です。 イギリスとニュージーランド以上に1日の間に天気が本当に何回もころころ変わって過ごしづらい時もありました。これも理解できなかったです、不思議です。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学に行くことが決まってから、より英語の勉強をするようになって、留学中もいろんな人から正しい英語を教えてもらって、私の話す英語をわかってもらえて相手の言っていることを理解することができて英語でちゃんと会話ができている時がすごく楽しく嬉しくて、これからも英語の勉強を続けていきたいなって思えた2ヶ月でした。このモチベーションをキープしたまま英検の勉強やTOEICのスコアをあげていった自分の可能性を広げていきたいなと思っています。
5. 自由記述	アイルランドに住んでいる家族のおうちに私が加わって一緒に生活をするというのがホームステイだと思っていたのでそれとは違う形の生活で、さらに留学生の入れ替わりも激しかったのでやっとな慣れてきたところでいなくなって新しい子が来てというのが多くて生活に飽きることがありませんでした。常に誰かが近くにいるので1人になりたい時はなれないし、休みたいなって時も休めなかったり、日本語同士よりはコミュニケーションが上手く取れないので気遣いしたり顔をよくうかがったりして、しんどいなと思う時もありました。でも人数が多かった分、寂しくなることもホームシックになることもなくてずっと英語を聞いたり話したりする環境があったのはシェアハウスのいいところで留学をする上ではすごくメリットだと感じました。 本当は半年ぐらい留学に行きたかったのですが、2ヶ月という期間はやっぱり早いなと思いましたが、短すぎず長すぎずちょうど良かったかなと思いました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 10 月 6 日

海外留学成果報告書

【参加者C】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(個人型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 18 日 ~ 2023 年 10 月 1 日 (約6週間)					
留学先 (国・地域)	アイルランド・ ヨーク	留学先大学名	グリフィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は語学と国際交流に興味があり、一年生から英語特別クラスに所属しています。今回の留学の決め手は学校やホームステイで現地の方と交流できる機会が多いこと、単身で行くことで自身の成長につながると思ったことが主な理由です。また、英語力の向上と自身の英語がどの程度通用するのかを体感すること、スーパーや観光地などアイルランドの文化を体験できる場所を訪れることを目的とし、日本語や翻訳アプリに頼らずにクラスメイトやホストファミリーと積極的に会話をするを目標にアイルランドへ留学をしました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	私の通っていた語学学校ではひとつのクラスに様々な国からの留学生が在籍しているスタイルでした。そのため、授業では文法などの基本的なことはもちろん授業の内容や日常に関連する各国の文化も学ぶことができました。例えば結婚前の両親への挨拶の仕方や手での数字の表し方など興味深いトピックで日本とは異なる文化について話し合い、新たな知識を得ることができました。放課後にはクラスメイトと市内で食事や買い物を楽しみ、休日には観光地を訪れるなど直接異文化に触れ、英語でのコミュニケーションを取りながら充実した時間を過ごすことができました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	私は英語で積極的にコミュニケーションを取ることをひとつの目標にしており、クラスメイトやホストファミリー、現地の方と多くの会話を交わすことを意識していました。この中でも現地の方と話すことは私にはハードルが高いものだと感じていました。しかし、アイルランドの方々はずれ違い際に挨拶をしてくれたり、毎朝のバス停で話しかけてくれたり、観光地では地元の方が困っていることはないかと尋ねてくれるなどとても人の温かい国であることを実感しました。また、交通機関では日常的にバスは遅延しており、車内では音楽や会話が聞こえてきます。お店の営業時間も日曜日はお昼に閉店し、夕方には閉店します。町中のレストランやパブでは輪を超えてみんなで歌っていました。これらは日本では見られない文化であり、マイナスに感じる人もいるかもしれませんが。しかし私はこのようなアイルランドの寛容で自由な文化にとっても魅力を感じました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私は今回の留学プログラムに参加したことで大きな達成感と自信を得ることができました。これらは語学力に関することのみならず、自身の精神面にもプラスの影響を与えたと感じています。単身で行くこともあり出発前は楽しみよりも不安が大きかったです。しかし、実際不安に思っていたことの多くは特に問題なく解決しました。私は以前から不安が大きく新たな挑戦を躊躇してしまうことがありましたが、海外で何事もどうにかなることを実感したことでこれからは自信を持って新たなことにも挑戦できると思います。今後、就職などが控えています今回得たものを存分に生かし自分の活力へ繋げたいです。
5. 自由記述	私は何度か海外経験がありましたが、1人で渡航するのは初めてで大きな経験と挑戦になりました。これまで両親に頼り切り海外経験ができていたことを実感し、多くの不安がありました。しかし、アイルランドへ行ってからホストファミリーやルームメイトに恵まれ、帰国したい気持ちがなくなるほど充実した時間を過ごすことができました。短期間でしたがとにかく満足感が大きいです。素敵な人と場所に出会えうことができました。近い将来、もう一度アイルランドを訪れたいです。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 10 月 4 日

海外留学成果報告書

【参加者D】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(個人型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 25 日 ~ 2023 年 9 月 15 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	アイルランド・ ヨーク	留学先大学名	グリフィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	海外に行くことによって自分の英語力がどれほど通用するのかを知り、英語力をさらに向上させたいと思い、留学に行くことを決意しました。英語力だけでなく、アイルランドの歴史や文化に以前から興味があり実際に訪れて自分の目で見たいと思いいこの国を留学先として選びました。知り合いもいない、日本語も通じない、どのような場所か全く知らないという場所に訪れることによって、自分のできることが増え将来の成長につながると思いました。そのためにも、積極的に間違いを恐れず行動することを心掛けました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業は、月曜日から木曜日の9:30~14:40でした。授業の内容は、基礎的な英語の文法や単語を教科書に沿って学びました。授業中は、クラスメイトと会話することが多く、発音やイントネーションを練習しました。それだけでなく、アイルランドの英語には訛りがあるため英国英語とはどのような違いがあるのかなども学びました。 休日は、観光ツアーに参加したり、映画を見たり、教会や観光地に訪れたりなど日本では体験できないようなことをしたいと思い、出かけることが多かったです。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など	アイルランドの人々は、フレンドリーで親切な方ばかりでした。そのため町を歩いていると気さくに話しかけてくれることが多かったです。私が話す英語は間違いだらけで、ゆっくりであったにもかかわらず、関わったすべての人が私の言っていることを理解しようとしてくれました。一か月では大きな英語力の変化というものは感じることは出来ませんでした。英語を話すのに間違いを気にするということはありませんでした。間違えても通じるし、簡単な英語だけでも海外で生活できるということを知ることができました。しかし、簡単な英語だけでは複雑なことや詳しい内容を伝えることはできないため、伝えたいことが違うニュアンスで伝わってしまったり会話が止まってしまったりなど悔しい思いをすることが何度もありました。英語の単語や文法だけでなく、フレーズをたくさん覚えることを重要であると思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学に行ったことにより自分の視野が広がり、考え方も大きく変わりました。さらに、何事にも一歩踏み出すことが非常に重要であると思いました。なぜならできないと思っていたことでも実際やってみると案外できてしまったことが多かったからです。しかし、すべてうまくいったわけではなく失敗したことも何度もありました。その失敗を繰り返さないために次はどうすればうまくいくのかを考えることで自分の成長に繋がっていくと思いました。
5. 自由記述	今回の留学で、日本にいる時には味わえないようなことたくさんできたので本当に参加して良かったと思えました。この経験を活かし、もっと様々なことに挑戦していきたいと思いました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

《留学前後における意識調査》

留学前後における意識の変化を比較し、留学の成果を検証することを目的に、出発前・帰国後に下記のアンケートを実施。

1. あなたの英語能力についてお伺いします。(英語コミュニケーション能力)

- 全体的な英語のコミュニケーション能力に自信がある。 ()
- 特にリスニングの(聞く)能力に自信がある。 ()
- 特にスピーキングの(話す)能力に自信がある。 ()
- 特にライティングの(書く)能力に自信がある。 ()
- 特にリーディングの(読む)能力に自信がある。 ()

2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。(自己効力感)

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。 ()
- 海外留学プログラムの目的を理解している。 ()
- グローバルシーンにおいて実践的な英語を使うことができる。 ()
- ライティング(文書作成、理論的思考)の基本を身につけている。 ()
- 英語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。 ()
- グローバルシーンにおける対人関係(リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む)を構築することができる。 ()
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。 ()
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。 ()
- これからの就職活動について自信がある。 ()
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。 ()

3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。(異文化意識)

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。 ()
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。 ()
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。 ()
- 自国文化について相手に伝えることができる。 ()
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。 ()

4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。(キャリア展望)

- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。 ()
- 自分が就きたい仕事が決まっている。 ()
- 自分が将来就きたい仕事のためにどのような能力が必要かを理解している。 ()
- 国際的な仕事に関心を持っている。 ()

アンケート 回答選択肢

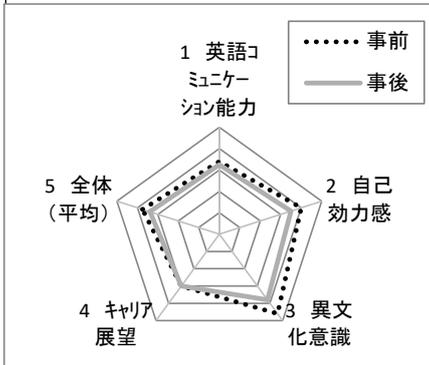
1. 全くあてはまらない
2. あまりあてはまらない
3. どちらでもない
4. だいたいあてはまる
5. よくあてはまる

2023年度 夏期英語研修（個人型）参加前後における意識調査アンケート結果

【参加者B】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.4	3.3
2 自己効力感	4.0	3.5
3 異文化意識	4.6	3.8
4 キャリア展望	3.0	3.0
5 全体（平均）	3.8	3.4

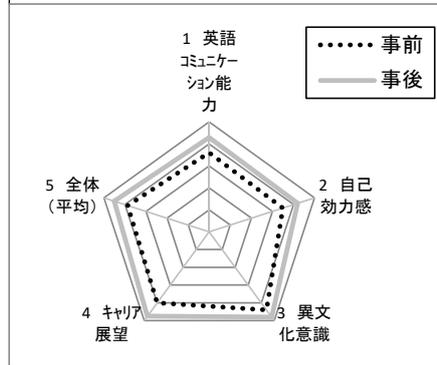
※グリフィス大学 8週間



【参加者C】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.6	4.3
2 自己効力感	3.5	4.2
3 異文化意識	4.4	4.8
4 キャリア展望	4.0	4.8
5 全体（平均）	3.9	4.5

※グリフィス大学 6週間



【参加者D】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	3.5
2 自己効力感	3.0	3.2
3 異文化意識	5.0	5.0
4 キャリア展望	4.5	4.0
5 全体（平均）	3.6	3.9

※グリフィス大学 4週間

